

昭和44年度豚産肉能力検定成績(抄録)

大橋昭也 加藤巳之吉

1. 目的

種豚の産肉経済性に関する能力を把握して優良種豚の造成と普及を図る。

2. 検定方法

当场、および民間でけい養されている種豚で、産子能力検定に合格した雌豚から生産された同腹子豚中より、豚産肉能力検定基準に基づいた雄、去勢各2頭づつ計4頭を選んで1組とした下記4組について実施した。

3. 検定豚

本年度検定を行なった種豚はつぎのとおりである。

組別	品種	種雄豚	種雌豚	調査子豚の生年月日
44-S-1	W	スター73クロメリアマーシャル19	43~2ヒンガム マーシャルコップ1~2	44.3.8
44-S-2	Y	アンテリ-パロン シラユキオーサワ2~5	40トランマー アプリガースハムラ12884	44.3.23
44-A-1	W	スター73クロメリアマーシャル19	スター53ワイブレー チャンピオン6	44.8.18
44-A-2	Y	アンテリ-パロン シラユキオーサワ2~5	39アンテリ- ポールオークハムラ12222	44.8.29

4. 検定成績

(1) 発育

組別	品種	生後日令			検定所後日数			1日平均増体重		
		開始時	前期終了時	検定終了時	前期	後期	全期間	前期	後期	全期間
44-S-1	W	79	132	184	53	52	105	574	770	670
44-S-2	Y	98	152	214	54	62	116	559	647	605
44-A-1	W	70	125	180	55	55	110	547	736	640
44-A-2	Y	79	151	222	72	71	143	417	564	489

(2) 飼料所要量

組 別	品 種	前 期		後 期		全 期 間	
		消費量	要求率	消費量	要求率	消費量	要求率
44-S-1	W	89.2 ^{kg}	292	149.8 ^{kg}	378	239.0 ^{kg}	341
44-S-2	Y	80.4	262	164.0	411	244.4	349
44-A-1	W	93.1	310	157.0	393	250.1	358
44-A-2	Y	112.1	379	187.3	454	299.4	428

(3) 屠体調査成績

組 別	絶食 体重	と肉 歩留	と 体長	背 腹 長			と 体幅	ロ ー ス			大割肉片の割合		
				I	II	III		面積	長径と短径	周囲 長	カタ	ロース バラ	ハム
44-S-1	88.0 ^{kg}	66.9 [%]	95.1 ^{cm}	79.3 ^{cm}	68.9 ^{cm}	51.6 ^{cm}	33.5 ^{cm}	14.3 ^{cm}	4.4cm × 3.8cm	15.1 ^{cm}	34.3 [%]	34.6 [%]	31.1 [%]
44-S-2	85.6	67.8	92.8	77.8	66.6	50.5	33.9	19.2	5.1 × 4.2	17.0	34.5	36.7	28.8
44-A-1	87.3	68.6	94.3	78.2	67.9	50.6	34.7	17.4	5.0 × 3.8	16.4	33.4	34.4	32.3
44-A-2	85.7	69.9	92.4	77.5	68.4	51.9	33.3	21.1	5.3 × 4.4	17.5	32.7	38.2	29.1

組 別	脂 肪 層 の 厚 さ			
	肩	背	腹	平 均
44-S-1	3.4 cm	1.6 cm	2.8 cm	2.6 cm
44-S-2	3.7	1.9	2.7	2.8
44-A-1	4.1	2.0	2.9	3.0
44-A-2	4.5	2.1	3.4	3.3

(4) 組別総合成績

組 別	品 種	一日平均 増 体 重	飼 料 要 求 率	背 腹 長 さ - 太 さ	ハ ム の 割 合	脂肪層 の 厚 さ	総合評価
44-S-1	W	a	c	d-d	c	b	b-36 ^点
44-S-2	Y	b	b	c-a	d	a	b-40
44-A-1	W	b	c	e-c	b	d	c-30
44-A-2	Y	e	e	b-a	c	c	d-23